

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月7日

上場会社名 日本紙パルプ商事株式会社
 コード番号 8032 URL <http://www.kamipa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部本部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

(氏名) 松谷 克
 (氏名) 伊藤 泰明
 配当支払開始予定日

TEL 03-3270-1311
 平成20年12月1日

上場取引所 東

(百万円未満四捨五入)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	254,630	—	3,554	—	3,647	—	2,156	—
20年3月期第2四半期	242,171	4.1	3,191	21.6	3,275	16.3	1,928	34.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	14.82	14.07
20年3月期第2四半期	12.97	12.33

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第2四半期	275,467	—	66,410	—	23.7	—	449.19	—
20年3月期	265,505	—	65,083	—	24.0	—	437.71	—

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 65,340百万円 20年3月期 63,679百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	530,000	6.7	7,300	3.8	7,400	3.6	4,000	166.7	27.50

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	149,421,642株	20年3月期	149,418,857株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期	3,959,215株	20年3月期	3,935,969株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	145,472,678株	20年3月期第2四半期	148,582,586株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月15日に公表しました連結業績予想について、本資料において修正しております。上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は2ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）におけるわが国経済は、米国経済の減速や資源価格の高止まりにより、企業業績の減退見通しのもと設備投資は低迷し、個人消費も弱含みで推移し、景気の減速感がいっそう強まりました。紙パルプ業界におきましては、製紙原燃料の高騰による厳しい収益環境にあり、紙、板紙とも昨年に引き続き価格修正の動きとなりました。これに伴い一部に価格修正前の仮需が発生しましたが、景気減速を反映して国内の紙、板紙需要は全体として低調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは販売価格の修正に取組み、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比5.1%増の2,546億円になりました。利益面では、営業利益は11.4%増の35億5千4百万円、経常利益は11.4%増の36億4千7百万円、四半期純利益は11.8%増の21億5千6百万円になりました。

（注）前年同四半期比増減率は、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末（平成20年9月30日）の総資産は、たな卸資産の増加等により、前期末（平成20年3月31日）に比べて99億6千2百万円増加しました。総負債は、仕入債務の増加等により、前期末に比べて86億3千6百万円増加しました。純資産は、四半期純利益の計上等により、前期末に比べて13億2千6百万円増加しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、世界的な金融システムの混乱、株価や為替の乱高下、資源価格の変動などのもと、景気の先行きに不透明感を増しております。紙パルプ業界におきましては、国内需要の減退にともない在庫の高止まりが続いており、製紙会社において減産体制が強化されております。

当社グループの通期業績予想につきましては、紙、板紙等の価格修正の効果と販売数量の見通しを精査し、売上高を5,300億円に修正しております。利益面につきましては、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも平成20年5月15日公表の数値のまま修正しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ② 第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用し、棚卸資産の評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。
なお、この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

当社及び国内連結子会社は、平成20年度の法人税法改正による法定耐用年数の変更に伴い、機械及び装置の耐用年数の変更を行っております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,569	2,162
受取手形及び売掛金	151,045	149,468
たな卸資産	25,951	21,711
その他	8,676	5,636
貸倒引当金	△ 2,653	△ 2,637
流動資産合計	185,589	176,339
固定資産		
有形固定資産	46,523	44,363
無形固定資産	908	915
投資その他の資産		
投資有価証券	36,781	38,295
その他	6,389	6,348
貸倒引当金	△ 722	△ 755
投資その他の資産合計	42,448	43,888
固定資産合計	89,878	89,166
資産合計	275,467	265,505
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	124,001	118,720
短期借入金	27,895	26,330
コマーシャル・ペーパー	9,000	10,000
1年内償還予定の社債	7,787	5,000
未払法人税等	1,687	1,904
引当金	49	113
その他	8,925	6,587
流動負債合計	179,344	168,654
固定負債		
社債	10,000	12,788
長期借入金	9,152	10,530
引当金	2,920	2,775
負ののれん	665	—
その他	6,978	5,674
固定負債合計	29,713	31,767
負債合計	209,057	200,422
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,506	16,506
資本剰余金	15,099	15,099
利益剰余金	33,047	31,621
自己株式	△ 1,492	△ 1,484
株主資本合計	63,161	61,742
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,445	2,063
繰延ヘッジ損益	15	△ 21
為替換算調整勘定	△ 281	△ 105
評価・換算差額等合計	2,179	1,937
少数株主持分	1,069	1,405
純資産合計	66,410	65,083
負債純資産合計	275,467	265,505

(2) 四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	254,630
売上原価	235,461
売上総利益	19,169
販売費及び一般管理費	15,615
営業利益	3,554
営業外収益	
受取利息	68
受取配当金	445
その他	142
営業外収益合計	655
営業外費用	
支払利息	459
持分法による投資損失	2
その他	101
営業外費用合計	562
経常利益	3,647
特別利益	
投資有価証券売却益	148
受取補償金	61
企業結合における交換利益	53
貸倒引当金戻入額	14
固定資産売却益	9
その他	2
特別利益合計	288
特別損失	
投資有価証券評価損	9
固定資産処分損	7
その他	4
特別損失合計	20
税金等調整前四半期純利益	3,915
法人税、住民税及び事業税	1,727
法人税等調整額	△ 27
法人税等合計	1,700
少数株主利益	59
四半期純利益	2,156

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考】

前年同四半期に係る財務諸表
中間連結損益計算書

(単位：百万円)

区 分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
I 売上高	242,171
II 売上原価	223,731
売上総利益	18,440
III 販売費及び一般管理費	15,249
営業利益	3,191
IV 営業外収益	
1 受取利息	74
2 受取配当金	428
3 持分法による投資利益	25
4 その他	172
営業外収益合計	699
V 営業外費用	
1 支払利息	476
2 その他	139
営業外費用合計	615
経常利益	3,275
VI 特別利益	
1 固定資産売却益	525
2 投資有価証券売却益	44
3 その他	1
特別利益合計	571
VII 特別損失	
1 投資有価証券評価損	228
2 退職給付過去勤務債務償却額	17
3 固定資産処分損	5
4 その他	4
特別損失合計	254
税金等調整前中間純利益	3,592
法人税、住民税及び事業税	1,708
法人税等調整額	△ 122
少数株主利益	78
中間純利益	1,928